

江戸取図書館だより

2023.6月 第1号

新着図書が入荷しました

新年度に入り、早くも2か月が過ぎ梅雨の季節になりました。

雨の降る日は本を読むのもいいですよ。

さて、江戸取図書館では新着図書が入荷しました。

先日発表された本屋大賞の本や、生徒の皆さんからリクエストをいただいた本など、

他にもいろんなジャンルの本を揃えています。

ぜひ図書館に来て、手に取ってみてください！

生徒リクエストの本

図書館では随時、皆さんからのリクエストを受け付けています。

「図書館に置いてもらいたい!」「他のみんなにも読んでもらいたい!」という本があったら館内のリクエストボックスにいらしてくださいね。(全てのリクエストに応えるわけではありません)



- ・最果てアーケード (小川洋子著)
 - ・ミッドナイト・モクテル (ゆきた志旗著)
 - ・天国までの49日間 (櫻井千姫著)
 - ・今夜、世界からこの恋が消えても (一条岬著)
 - ・昔話法廷Season1~4(NHK Eテレ「昔話法廷」制作班編)
 - ・幼女戦記2巻~4巻 (カルロ・ゼン著) (1巻も図書館にあります)
 - ・ワンダー (R・J・パラシオ著)
- 他に、護られなかった者たちへ (中山七里著)、昔話法廷Season5(NHK Eテレ「昔話法廷」制作班編)も入荷しました。

北海道に関する本



今年の高2修学旅行は北海道ですね。出発する前に図書館で調べてから行くと、学びの多い修学旅行になると思います。最新のガイドブックのほかにも、ドラマ「下町ロケット」のモデルになった植松電機社長 植松努さんの著書もあります。





2023 本屋大賞 上位5作品 貸出スタート！



本屋大賞とは・・・ 全国書店員がいちばん 売りたい本を決める賞です！

選考方法

- (1) 一次投票 一人3作品を選んで投票
- (2) 上位10作品をノミネート本として発表
- (3) 二次投票 ノミネート作品をすべて読んだ上で、全作品に感想コメントを書き、ベスト3に順位をつけて投票。
- (4) 大賞作品を決定



凧良ゆうは、第17回の『流浪の月』に続いて二度目の受賞。本屋大賞を二度受賞したのは、2005年『夜のピクニック』、2017年『蜜蜂と遠雷』で受賞した恩田陸に続いて二人目。ちなみに、『蜜蜂と遠雷』は直木賞とのW受賞でもあります。

2023年の結果

- 1位 「汝、星のごとく」 凧良ゆう(講談社)
- 2位 「ラブカは静かに弓を持つ」 安壇美緒(集英社)
- 3位 「光のどこにいてね」 一穂ミチ(文藝春秋)
- 4位 「爆弾」 呉勝浩(講談社)
- 5位 「月の立つ林で」 青山美智子(ポプラ社)
- 6位 「君のクイズ」 小川哲(朝日新聞出版)
- 7位 「方舟」 夕木春央(講談社)
- 8位 「宙ごはん」 町田そのこ(小学館)
- 9位 「川のほとりに立つ者は」 寺地はるな(双葉社)
- 10位 「#真相をお話します」 結城真一郎(新潮社)

『ラブカは静かに弓を持つ』は心震える“スパイ×音楽”小説【第6回未来屋小説大賞受賞】【第25回大藪春彦賞受賞】も受賞！



『光のどこにいてね』の一穂ミチは、大きな賞の候補に挙がること多数。そろそろ受賞しそう。『爆弾』は、『このミステリーがすごい！』2023年版『国内編第1位。面白さは折り紙付き。『月の立つ林で』で3年連続本屋大賞ノミネートの青山美智子。次回は受賞なるか？

新着図書の紹介は次号に続きます

